

「宇宙基本計画(案)」への BizEarth からの意見投稿について

地球観測データ利用ビジネスコミュニティ（BizEarth）事務局

内閣府宇宙開発戦略推進事務局は、2020 年 4 月 6 日に「宇宙基本計画(案)」を公開し、同時に広く国民からの意見募集を開始いたしました。

これを受けて幹事会では、会員の皆様から意見を出していただき、それらを整理して以下の 7 件にまとめ、BizEarth 名義で意見を投稿いたしました。

ご協力いただきました会員の皆様に深く感謝いたします。

<参考 URL>

「宇宙基本計画(案)」に関する意見について（電子政府の総合窓口～パブリックコメント）

<https://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=095200350&Mode=0>

宇宙基本計画(案) 令和 2 年 4 月 6 日（PDF 文書）

<https://search.e-gov.go.jp/servlet/PcmFileDownload?seqNo=0000200919>

以下は、意見募集要領の注意に従い、最初に該当する章・節題を記しています。

①該当箇所：P10 3.(3) (a) 4 行目～7 行目

<意見内容>

- ・工程表に政策項目ごとに成果目標を設定することは賛成するが、10 年間は時間タームが長すぎる。
- ・技術開発や社会システムの変化が激しい中、成果目標の見直し、評価は 2～3 年で評価見直しが必要と考える。

②該当箇所：P15 4.(2)② i 気象衛星

<意見内容>

- ・気象衛星の観測体制が重点的に記載されているが、高分解能化、高頻度化により、災害時の状況把握のニーズが高まってくる。利用方法に関して、積極的な検討・開発が必要である。

③該当箇所：P15 4.(2)② iii 地球観測衛星・センサ 6 行目～8 行目

＜意見内容＞

- ALOS シリーズについては、政府衛星として商用衛星としっかりと位置づけを分けたものにしていただきたく、また過去からの ALOS シリーズとの継続性も強化する事、又諸外国（特に EU—Sentinel 1—2 シリーズ）と連携した運用も望まれることから、Sentinel シリーズとの軌道や観測モードの連携等、利用重視の政策に変更する事も含め考慮頂きたい。

④該当箇所：P17 災害対策・国,強靱化への衛星データの活用

＜意見内容＞

- 本格的な社会実装に向けて、全省庁や都道府県、さらに市町村が利活用できるよう、法整備や防災行政への仕組みへの組み込み等、研究結果の出口として、政府を中心とした利用への道筋を示していただきたい。

⑤該当箇所：P21 4.(4)② i 衛星データ（衛星リモートセンシング・測位）の利用拡大
1 行目～12 行目

＜意見内容＞

- リモートセンシングデータ利用タスクフォースには、是非民間利用ユーザーの声も届きたいため、民間企業からの参加もお願いしたい。政府や自治体の利用推進の施策として、政府内での活用や広く自治体連携についても記載いただいており、大変素晴らしいと考える。是非とも実効性のある計画と実施への予算措置もお願いしたい。また、人材育成においては、高校地理必修化に向けたコンテンツとして衛星リモートセンシングデータの活用（防災・農林水産など）を加える等の施策を検討してもらいたい。

⑥該当箇所：P22 4.(4)② ii 政府衛星データのオープン&フリー化

＜意見内容＞

- 計画案には「国際的に同等の水準で、加工・解析等の利用が容易な形式でデータを無償提供する「オープン&フリー化」を以下の通り確立する。」とあるが、実データを提供するということか。

⑦該当箇所：P23 4.(4)②.iii 政府衛星データプラットフォーム

＜意見内容＞

- Tellus は政府衛星データを官民間問わず他プラットフォームからアクセスしやすい環境整備に特化していただきたい。現状は、Tellus プラットフォーム上でなければ政府衛星データにアクセスできず、官公庁・民間問わず外部からのアクセスが困難である。また、デファクトスタンダードとなっている民間プラットフォームとの重複投資を最小化するた

め、Tellus が蓄積する衛星データを民間 PF から利用できるようにシステム連携機能の拡充や実証実験プロジェクトを推進してほしい。

以上